

令和5年度 行政評価の取組結果（デジタル市役所推進室）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)						
II-3-(2)-② ワーク・ライフ・ バランス（仕事と生活の調和）の推進	1	⑪ ⑯	KitaQ DX推進事業	DX推進課	デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課	北九州市DX推進計画のミッションである「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現に向け、全庁一体でスピード感をもってDXを推進するために、基盤となる全庁的なDX人材の育成や、DX推進計画の着実な進捗管理、民間の知見やノウハウを施策に反映する仕組みの構築などに取り組む。	「北九州市DX推進計画」に基づく取組の推進	—	目標	計画の着実な推進	計画の着実な推進	計画の着実な推進	19,027	5,000	3,947	6,400	順調	連携協定企業等の協力も得て研修に取り組み、令和5年度から3年間で2,400人の市職員をDX人材として体系的に育成する「DX人材育成プロジェクト」を開始し、DX人材が自律的に業務改革を推進する基盤づくりに着手した。 ローコードツールの全職員での活用や業務量調査の結果も活用した全課でのDXアイデア検討を実施するなど、全庁的に計画を着実に推進させていることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 各職場で自律的にデジタル技術を活用して業務改革に取り組むDX人材の育成に着手するとともに、デジタル技術の活用等により作業時間の削減を着実に進めている。 また、モバイル端末の活用促進やオフィス改革の実施により、業務内容に合わせた柔軟な働き方を推進できていることから「順調」と判断。 【課題】 今後のテレワークの実施の方向性については、制度導入時のコロナ禍から変化したテレワークに対する考え方の整理などの検討が必要。
	2	⑤ ⑧ ⑩	市職員のテレワーク推進	DX推進課	デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課	本市職員の業務効率化及び新しい生活様式に対応した多様な働き方を可能にするため、必要なモバイル端末を調達し、テレワークの本格実施に向けた環境整備を進めるもの。	テレワーク実施率（各職員が月1回以上実施）	—	目標	テレワークの実施	テレワークの実施	本庁部署におけるテレワーク実施率80%（R7年度）	90,976	90,977	90,976	6,400	順調	職場と同様作業ができるモバイル端末1,500台を各局に配備し、テレワークを推進していることから、「順調」と判断。		
	3	⑪ ⑰	ペーパーレス・オフィス改革推進事業	DX推進課	デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課	効率的で働きやすい職場環境の実現において、モバイルパソコン等を活用したペーパーレス化やフリーアドレスの導入などオフィスレイアウトを見直しオフィス改革を推進するもの。	ペーパーレス化の推進	—	目標	ペーパーレス化推進	ペーパーレス化推進	紙の使用量50%削減（R7年度・R2年度比）	7,997	30,000	20,520	5,400	順調	財政・変革局 財政課、都市整備局 設備部においてモデル的にオフィス改革を実施し、コピー用紙調達数約4割減（R2年度比）の効果をえた。 今後、横展開を進めていく上での効果検証ができたことから、「順調」と判断。		

令和5年度 行政評価の取組結果（デジタル市役所推進室）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）					
II-3-(2)-④ 女性の活躍推進	4	⑤ ⑧ ⑩	市職員のテレワーク推進	DX推進課	デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課	本市職員の業務効率化及び新しい生活様式に対応した多様な働き方を可能にするため、必要なモバイル端末を調達し、テレワークの本格実施に向けた環境整備を進めるもの。	指標名等	—	目標 テレワークの実施	テレワークの実施	本庁部署におけるテレワーク実施率80%（R7年度）	90,976	90,977	90,976	6,400	順調	職場と同様作業ができるモバイル端末1,500台を各局に配備し、テレワークを推進していることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 モバイル端末の活用促進、業務内容に合わせた柔軟な働き方を実現できていることから、「順調」と判断。 【課題】 今後のテレワークの実施の方向性については、制度導入時のコロナ禍から変化したテレワークに対する考え方の整理などの検討が必要。
							実績	—	テレワークの実施	テレワークの実施									
							達成率	—	—	—									
III-1-(3)-④ 高度情報社会への対応	5	⑪ ⑫	KitaQ DX推進事業	DX推進課	デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課	北九州市DX推進計画のミッションである「デジタルで快適・便利な幸せなまち」の実現に向け、全庁一体でスピード感をもってDXを推進するために、基盤となる全庁的なDX人材の育成や、DX推進計画の着実な進捗管理、民間の知見やノウハウを施策に反映する仕組みの構築などに取り組む。	指標名等	—	目標 計画の着実な推進	計画の着実な推進	計画の着実な推進	19,027	5,000	3,947	6,400	順調	連携協定企業等の協力も得て研修に取り組み、令和5年度から3年間で2,400人の市職員をDX人材として体系的に育成する「DX人材育成プロジェクト」を開始し、DX人材が自律的に業務改革を推進する基盤づくりに着手した。 ローコードツールの全職員での活用や業務量調査の結果も活用した全課でのDXアイデア検討などを実施するなど、全庁的に計画を着実に推進させていることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 業務効率化に向けて、AI・RPAを活用した定型業務の集中処理やローコードツールの全職員活用促進により作業時間を削減するとともに、全庁的なDXアイデア検討などの取組を実施した。 市民サービスの向上に向けて、手続きオンライン化や全区役所でのキオスク端末の配置、区役所窓口のオンライン予約・発券サービスの実証を進めるとともに、デジタルに馴染みがない方に向けたデジタル活用講座開催などの取組を実施した。 以上のことから、高度情報社会への対応を総合的に進めていることから、「順調」と判断。
							実績	—	計画の着実な推進	計画の着実な推進									
							達成率	—	—	—									
6	⑬	⑬	AI・RPAによる業務改革事業	DX推進課	デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課	業務の抜本的改革に取り組むため、AIやRPA、ローコードツール等の新たなデジタル技術を積極的活用する。	指標名等	—	目標 事務作業時間の削減	事務作業時間の削減	事務作業時間100,000時間削減（R7年度）	40,639	125,000	110,676	15,400	順調	令和5年度において、AI-OCR、AI音声議事録作成支援、RPA集中処理により、年間15,507時間の削減効果があった。 また、ローコードツールについては、308システムを本運用し、年間40,355時間の削減効果があった。 AI・RPA、ローコードツールともに活用が進んでいることから、「順調」と判断。	順調	【課題】 DXに取り組む領域は幅広くある中で、全庁一体でDXを推進するために、施策検討・企画の最上流からデジタル・ファーストでDXを推進する考えを徹底することが必要。
							実績	—	年間削減作業時間：46,549時間	年間削減作業時間：55,862時間									
							達成率	—	—	—									

令和5年度 行政評価の取組結果（デジタル市役所推進室）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)					
7	17		デジタルデバ イド対策事業	DX推 進課	デジ タル 市役 所推 進室 デジ タル 市役 所推 進課	デジタル機器の 操作に不慣れな方 であっても、デジ タル技術の活用に よる恩恵を享受で きるよう、啓発等 の取組を進める。	市民のインター ネット利用率	75% (R2年 度調 査)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	85% (R6年 度)	7,042	62,400	53,806	6,400	順調		
									実績	—	—								
									達成率	—	—								
8	17		手続きオンラ イン化推進事 業	DX推 進課	デジ タル 市役 所推 進室 デジ タル 市役 所推 進課	市民サービスの 向上、市役所業務 の効率化に向け て、行政手続きの オンライン化を推 進する。	行政手続きのオ ンライン化	—	目標	手続きオン ライン化の 着実な推進	手続きオン ライン化の 着実な推進	対象と なるす べての 手続き を原則 オンラ イン化 (R7年度 末)	2,872	12,500	10,740	20,950	順調		
									実績	手続きオン ライン化の 着実な推進	手続きオン ライン化の 着実な推進								
									達成率	—	—								